

2-4 フェイルセーフ、バックアップ機能

ダイアグノシス機能により主要なセンサーの故障を検知したとき、あらかじめ設定されている制御ロジックによって車両を安全に運転できる状態に保つ制御を行う。

故障項目	故障時の制御内容
吸気温センサー	吸気温を45°Cとして制御する。
スロットルポジションセンサー (TPS)	TPS信号による加速時の燃料増量噴射は行わない。
水温センサー	(1) エンジン冷却水温を80°Cとして制御する。(なお、センサー信号が正常に復帰してもイグニッションスイッチをOFFするまでの間は、この制御を続ける。) (2) ファンモーター(ラジエーター)を高速回転させる。
ブーストセンサー	(1) スロットルポジションセンサー(TPS)信号及びエンジン回転数信号(クランク角センサー信号)を用いて、あらかじめ設定されているマップより、インジェクター基本駆動時間及び基本点火時期を読み取る。 (2) ISCソレノイドバルブを所定のデューティサイクルに固定し、アイドル回転数制御は行わない。
オルタネーターFR端子	電気負荷に対するオルタネーター出力抑制制御は行わない。(通常のオルタネーターとして作動する)

3. ダイアグノシスコード分類表

コードNo.	診断項目	参照ページ
13	吸気温センサー系統	13A-8
14	スロットルポジションセンサー (TPS) 系統	13A-9
21	水温センサー系統	13A-10
22	クランク角センサー系統	13A-11
24	車速センサー系統	13A-12
32	ブーストセンサー系統	13A-13
55	アイドルスピードコントロール(ISC)ソレノイドバルブ系統	13A-14
64	オルタネーターFR端子系統	13A-15